



そうだったのか！ 北海道のコムギなまぐさ黒穂病

概要 Abstract

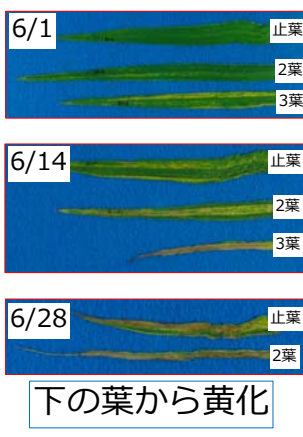
なまぐさ黒穂病は小麦の穂に発生する病害で、発病すると**なまぐさい臭い**がするのが特徴です。この研究では**病原菌**とその**特性**、**被害を軽減するための栽培方法(耕種的対策)**を明らかにしました。また、臭いの特性などを解明しました。

成果 Results

【症状の特徴】



葉が黄化する



6/1

止葉

2葉

3葉

6/14

止葉

2葉

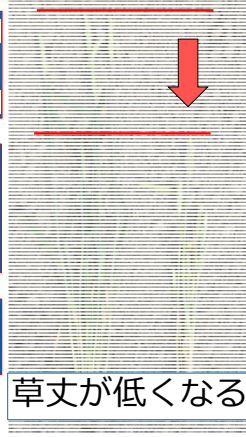
3葉

6/28

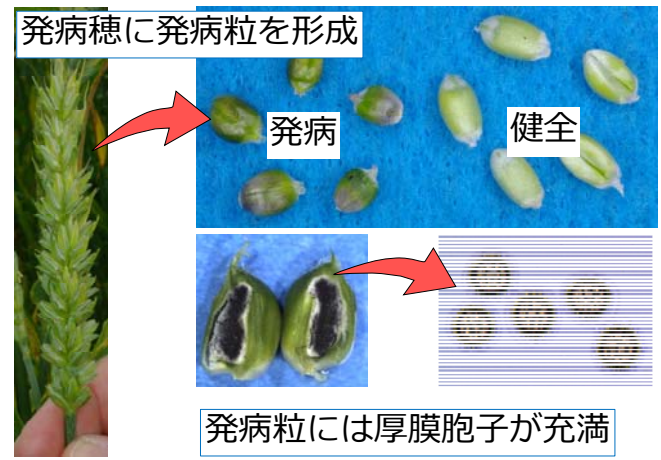
止葉

2葉

下の葉から黄化



草丈が低くなる



発病穂に発病粒を形成

発病

健全

発病粒には厚膜胞子が充満

【そうだったのか！病原菌】

北海道で発生しているなまぐさ黒穂病菌

本州とは異なる病原菌だった

【そうだったのか！感染方法】

土壌伝染し種子伝染しない

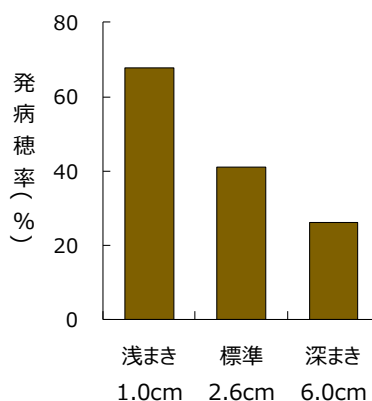
土壌表面の厚膜胞子が感染

主に積雪下で感染

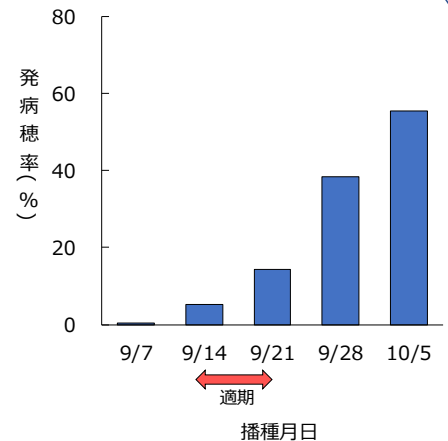


春まき栽培は発生リスクが極めて低い
初冬まき栽培はリスクがある

【そうだったのか！栽培による対策】



浅まきに注意！



適期に播種を！

普及 Dissemination

- 北海道におけるコムギなまぐさ黒穂病対策として活用できます。
- この成果を反映した「コムギなまぐさ黒穂病Q&A」の改訂版を令和2年2月に公表予定です。
- この研究は「革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）」により実施しました。

連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 クリーン病害虫グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp